

- ECEC\*とは、

## Early Childhood Education and Careの

略語で、直訳すると「人生初期の教育とケア」を意味します。

- ECECの提供と質に関して世界的に関心が高まる中、日本の保育・幼児教育分野においても様々な改革が進みつつあります。
- チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)はECECを「新しい保育・幼児教育」を表すことばと位置付け、ECEC研究を進めてまいります。

\*EC = Early Childhood

ECD = Early Childhood Development

ECCE = Early Childhood Care and Education

などの用語で議論されることもあります。

- 国際経済について協議する機関であるOECDが幼児教育に注目した理由は、保育・幼児教育への公共投資が、経済的・教育的に国の経済成長にとって有効であるといわれるようになってきたからです。
- ノーベル経済学賞受賞者のJ. ヘックマン教授（シカゴ大学）の主張によると、「同じ1ドルを、幼児期に投資した場合と大人になってから投資した場合では、前者の方がリターンが高い」とのことです。

- 現在、日本の保育の現場は大きな変革の波の真ただ中にあります。認定こども園という形でいったん収束したように見える幼保一元化の議論は、いまだに「教育 (education)」と「養護 (care)」の間で揺れ動いています。
- 世界中の保育、幼児教育関係者は、この時期の子どもに必要なのは、educationとcareの両方であるという共通認識に立っています。

日本におけるECECの課題  
を洗い出し、  
その解決の糸口を探り、  
議論の場を提供し、グローバルな  
視点での情報発信を  
進めてまいります。

●日本の保育・幼児教育は、世界の中でどのような位置にあるのか？（世界の中でのマッピング）

別の言い方をすれば、日本の保育・幼児教育で世界に誇れることは何であり、逆に足りないことは何なのか？

- そもそも日本の保育・幼児教育の全体像は明らかになっているのか？

別の言い方をすれば、保育・幼児教育の「代表的」「標準的」「平均的」な保育所・幼稚園を挙げることはできるのか？（国内のマッピング）

- 保育の質を測定する基準（ものさし、measure）は何か？

別の言い方をすると「高い保育の質」とは何か？どのような条件を満たせば、それは質の高い保育といえるのか？

- 保育の質を高めるためには、何がなされなければならないのか？

理念や精神論ではなく、具体的に



- 保育所と幼稚園で行われている保育内容の本質的な差は何か？
- 保育時間、給食の有無の差ではなく、実際に行われている活動の差は何か？

保育の質を高めていくために、

- ・世界のトレンド
- ・国レベルの政策
- ・園の現場の課題とニーズ
- ・保護者の意識とニーズ
- ・子どもの成長発達
- ...

などの視点で、エビデンスに基づき、日本国内外の専門家、実践家、保護者と議論を進めてゆきます。